

霧島市立国分西小学校は、昭和30年市政施行により国分市立西小学校に、昭和50年に国分市立国分西小学校と改称されました。

その後の市町村合併に伴い、平成17年度に霧島市立国分西小学校となり、今年で創立69周年を迎えます。

平成21年には児童数が1,000人を越えたことから、天降川小学校の開校に伴う分離を経て、現在は児童数656人、教職員数50人、通常学級20学級、特別支援学級10学級（平成23年に「ことばの教室」も開設）の合計30学級となっています。

校章は、昭和32年に制定され、「花は霧島、煙草は国分」とおはら節の歌詞にあるとおり、煙草作りの盛んな土地にある学校として、三枚の煙草の葉ががっちり組み合い、躍進の形象の上に西の文字が図案化されています。

当校は、現在、広瀬、福島の二つの地区が校区となっていますが、三枚の葉はこれに、今は旧校区となった松木地区を加えたものとなっています。

学校の教育目標に、「夢を育み、感性や個性を伸ばす教育」を掲げ、児童一人一人の夢と希望を大切に育み、「よさ」や「可能性」を伸ばす教育を推進しています。

特に、お互いに認め合い、助け合う学級づくり、所属感を持たせる特別活動等を基盤に、安心・安全・平和な学校、学級を目指すとともに、確かな学力を育む授業づくり、遊びや教科体育、健康や食育の充実等を通じ、国分西小ならではの文化を教児一体となって創っていけるように全教職員チーム一丸となって指導にあたって参ります。

第25代校長

下 健一郎